

広島大学埋蔵文化財

調査研究紀要

第 1 4 号

2023

広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

序 文

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響は継続し、埋蔵文化財調査部門を含め広島大学総合博物館の活動は引き続き自粛せざるを得ない状況であった。教育普及活動には大きな制約があったものの、展示室への入館者がわずかながら回復するなど今後への期待が見え始めた一年であった。

研究編には、4編の研究報告を収録した。呉市にて採集された寄贈資料を整理する中で、縄文時代・中世を中心とする新たな地域研究の課題を提示している。東広島市採集の寄贈資料に関しては、漆容器としての須恵器が含まれていた。分析により内容物が漆であることが確認でき、当地域における漆生産に関する貴重な資料となった。東広島キャンパス周辺の土壌分析、土器の胎土分析もおこなわれ、当キャンパス周辺での粘土採取活動の解明につながる成果が得られた。

調査編では、試掘調査・立会調査を報告している。霞・東千田キャンパスにて、実験棟・講義棟の新営計画が立て続けに提出された。霞キャンパスでは、兵器補給廠倉庫の基礎などが新たに確認された。東千田キャンパスでは、統合移転前の大学グラウンドや近代の水路跡などが検出された。令和4年には、霞キャンパス全域が陸軍関連遺跡（兵器補給廠地点）として遺跡登録されるに至った。これまで続けてきた調査が評価されたことを喜ぶとともに、今後の遺跡保護の責任を改めて認識した次第である。

上述のように、令和3年度には教育普及活動の大部分は自粛することとなったが、感染症対策をとったうえで、キャンパス内遺跡の団体見学を実施することができた。デジタルミュージアム、SNS、Googleマップなどを活用した情報発信によって、より多くの方の目にとまるよう努めた。現在、埋蔵文化財調査部門展示室の来館者も増加しつつあり、以前のような活動ができる日が訪れることを期待したい。

2023（令和5）年3月31日

広島大学総合博物館

埋蔵文化財調査部門長

川 島 尚 宗

例 言

1. 本書は、研究編、調査編、普及・教育・研究活動報告編、付編からなる。調査編は、2021（令和3）年度に行った広島大学キャンパス内の開発に伴う協議事項および立会調査の概要報告である。普及・教育・研究活動報告編は、各年度に埋蔵文化財調査部門ならびに調査部門構成員が行った普及・教育および研究活動の概要である。付編には、埋蔵文化財調査部門に関連する規則、要項などを収録した。
2. 調査編は、2021 年度において、東広島地区（東広島市）、霞地区（広島市）、東千田地区（広島市）、翠地区（広島市）、東雲地区（広島市）、三原地区（三原市）、の開発に伴って実施した協議および発掘届と試掘調査・立会調査の概要である。
3. 普及・教育・研究活動報告編は、2021 年度の活動概要を収録した。
4. 2021 年度の試掘調査・立会調査は、広島大学が所在する各自治体の教育委員会と協議・協力をを行い、広島大学財務・総務室施設企画グループ、施設整備グループの協力を得て実施した。調査は、川島尚宗、石丸恵利子、梅本健治が担当した。
5. 調査編、普及・教育・研究活動報告編に関わる整理事業は、川島尚宗、石丸恵利子、梅本健治が行った。調査編の写真加工作業には、技術補佐員江本凜、林悠太郎、廣瀬雅恵、山崎瑞季の協力を得た。
6. 調査編に利用した広島大学各地区の建物配置図等は広島大学財務・総務室施設企画グループから提供された図面を利用して作成した。
7. 本書の執筆は、研究編を梅本、石丸ほか、川島、藤根ほか、調査編を川島、普及・教育・研究活動報告編を石丸、そのほかは川島が担当した。
8. 本書の編集は川島が担当した。

広島大学埋蔵文化財
調査研究紀要第14号

目次

第1部 研究編

呉市倉橋町室尾周辺出土の考古資料 梅本健治 …………… 1

東広島キャンパス出土弥生土器と西条盆地土壌の砂粒分析と
同位体比からみた土器粘土産出地の一考察
石丸恵利子・申基澈・米田穰 …………… 19

漆容器としての須恵器—東広島市新建遺跡採集資料の報告—
川島尚宗 …………… 45

礎底部黒色付着物の材質分析と放射性炭素年代測定
藤根 久・伊藤 茂・加藤和浩・廣田正史・
佐藤正教・山形秀樹・Zaur Lomtadze …………… 49

第2部 調査編

開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2021年度）…………… 55

第3部 普及・教育・研究活動報告編

普及・教育・研究活動報告（2021年度）…………… 89

付 編

総合博物館埋蔵文化財調査部門の組織（2021年度）…………… 101

挿図目次

- 第 1 図 呉市位置図 (1 : 1,250,000)
- 第 2 図 呉市室尾地区周辺遺跡分布図 (1 : 50,000)
- 第 3 図 遺物実測図 (2 : 3, 1 : 2, 1 : 3, 1 : 4)
- 第 4 図 有茎尖頭器剥離痕切合関係図 (4 : 3)
- 第 5 図 広島県内出土有茎尖頭器実測図 (輪郭) (1 : 2)
- 第 6 図 広島県内出土有茎尖頭器実測図 (1 : 2)
- 第 7 図 遺跡・土壌サンプリング地点の位置および地質図
- 第 8 図 碎屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成 (1)
- 第 9 図 碎屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成 (2)
- 第 10 図 碎屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成 (3)
- 第 11 図 碎屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成 (4)
- 第 12 図 碎屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成 (5)
- 第 13 図 碎屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成 (6)
- 第 14 図 地域別土壌・岩石の Sr-Nd 同位体比
- 第 15 図 地域別土壌・岩石の Pb 同位体比
- 第 16 図 東広島市新建遺跡の位置
- 第 17 図 東広島市新建遺跡採集處
- 第 18 図 礎と底部付着物、赤外吸収スペクトル図および暦年較正図
- 第 19 図 広島大学の校地所在地図 (職員宿舎・その他を除く)
- 第 20 図 2021 年度東広島地区の立会調査位置図 (縮尺 1 : 20,000)
- 第 21 図 ががら山ボーリング基礎およびモノレール配置図
- 第 22 図 ががら山南斜面地下水位計設置個所 (C ~ H)
- 第 23 図 2021 年度霞地区試掘・立会調査位置図 (縮尺 1 : 5,000)
- 第 24 図 動物実験施設新営に伴う試掘調査トレンチ配置図 (縮尺 1 : 500)
- 第 25 図 コンクリート構築物 2 のオルソ画像
- 第 26 図 2021 年度東千田地区試掘・立会調査位置図 (縮尺 1 : 1,000)
- 第 27 図 東千田地区試掘調査トレンチ配置図 (縮尺 1 : 500)
- 第 28 図 東千田地区暗渠状遺構・石垣検出状況オルソ画像
- 第 29 図 2021 年度翠地区立会調査位置図 (縮尺 1 : 3,000)

- 第 30 図 紀要第 13 号の目次
第 31 図 パンフレット韓国語版の表紙
第 32 図 近代遺跡の紹介ページ

表目次

- 第 1 表 広島県内出土有茎尖頭器一覧表
第 2 表 分析試料一覧
第 3 表 薄片観察結果 (1)
第 4 表 薄片観察結果 (2)
第 5 表 薄片観察結果 (3)
第 6 表 薄片観察結果 (4)
第 7 表 薄片観察結果 (5)
第 8 表 薄片観察結果 (6)
第 9 表 薄片観察結果 (7)
第 10 表 西条盆地の土壌の同位体比一覧
第 11 表 資料とその詳細
第 12 表 年代測定資料と処理方法
第 13 表 生漆の赤外吸収位置とその強度
第 14 表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果
第 15 表 2021 年度 (令和 3) 広島大学における開発に伴う埋蔵文化財協議・発掘届一覧

写真目次

- 写真 1 遺物
写真 2 分析土器
写真 3 土壌・土器の胎土薄片
写真 4 東広島市新建遺跡採集壺
写真 5 壺内容物 (上部より、左が注口部)

写真 6 隧内容物（注口部より）

写真 7 ががら山実証実験プロジェクトに伴う立会調査（1）

7-1 GNSS 機器設置作業風景（ががら山山頂）（南より）

7-2 GNSS 機器設置状況（ががら山山頂）（南西より）

7-3 GNSS 機器設置作業風景（野球場西側）（北東より）

7-4 ボーリング位置確認風景（東より）

7-5 モノレール敷設作業状況（写真右側が新規敷設路線）（南より）

7-6 ボーリング 1 足場組み立て（南西より）

写真 8 ががら山実証実験プロジェクトに伴う立会調査（2）、地下水位計設置工事、
交通結束点整備工事に伴う立会調査

8-1 ボーリング 1 掘削箇所（南西より）

8-2 ボーリング 2 掘削箇所（南西より）

8-3 地下水位計設置風景（南より）

8-4 交通結束点整備 A 地点（西より）

8-5 交通結束点整備 B 地点東壁（西より）

8-6 交通結束点整備 C 地点造成土堆積状況（東より）

写真 9 交流施設新営設備その他工事および環境整備（迎える広場等）工事に伴う立会
調査

9-1 迎える広場工事掘削開始状況（東より）

9-2 迎える広場工事掘削状況（北より）

9-3 迎える広場柱基礎 1 本目南壁（北より）

9-4 迎える広場柱基礎 2 本目西壁（東より）

9-5 迎える広場柱基礎 3 本目南壁（東より）

9-6 迎える広場工事掘削完了状況（北より）

写真 10 バリカー設置工事に伴う立会調査

10-1 バリカー設置工事（東より）

10-2 バリカー基礎掘削（南より）

10-3 バリカー基礎掘削（南より）

10-4 石垣部材（南西より）

写真 11 緊急被ばく医療推進センター新営に伴う立会調査（1）

11-1 杭設置箇所確認（南より）

- 11-2 杭設置箇所確認（北より）
- 11-3 水槽撤去工事・南壁（北東より）
- 11-4 水槽撤去工事西壁（北東より）
- 11-5 水槽撤去工事で検出された松材（西より）
- 11-6 水槽撤去工事西壁（東より）

写真 12 緊急被ばく医療推進センター新営に伴う立会調査（2）

- 12-1 松杭確認状況（北より）
- 12-2 外灯移設地点西壁（西より）
- 12-3 エネルギー棟北側掘削状況（南東より）
- 12-4 ハンドホール設置地点西壁（東より）
- 12-5 水槽設置地点北壁（南西より）
- 12-6 水槽設置地点南壁（北より）

写真 13 動物実験施設新営に伴う試掘調査（1）

- 13-1 掘削開始状況 トレンチ 1（南西より）
- 13-2 トレンチ 1 西壁（東より）

写真 14 動物実験施設新営に伴う試掘調査（2）

- 14-1 トレンチ 1 西壁下部（東より）
- 14-2 トレンチ 2（南より）
- 14-3 トレンチ 2 出土花崗岩切り石（南より）
- 14-4 トレンチ 3（北東より）
- 14-5 トレンチ 3 西壁（東より）
- 14-6 掘削完了状況（南東より）

写真 15 動物実験施設新営工事に伴う立会調査

- 15-1 RI 棟解体地点北壁（北西より）
- 15-2 RI 棟解体地点北西部（南東より）
- 15-3 地中障害物撤去地点 3（東より）
- 15-4 地中障害物撤去地点 5（南西より）
- 15-5 検出された杭と錠（南より）
- 15-6 セメント廃棄ピット北壁（北より）

写真 16 中央機械棟とりこわし工事に伴う立会調査

- 16-1 中央機械棟解体状況（西より）

- 16-2 車庫解体作業（西より）
- 16-3 コンクリート構築物検出状況（東より）
- 16-4 コンクリート構築物 2 検出状況（北東より）
- 写真 17** 体育館空調機取設工事に伴う立会調査
 - 17-1 掘削状況（南より）
 - 17-2 コンクリート構築物（西より）
- 写真 18** 講義棟新営に伴う試掘調査（1）
 - 18-1 試掘調査地点全景（南東より）
 - 18-2 トレンチ 1 掘削開始状況（北西より）
 - 18-3 トレンチ 1 東壁（南西より）
 - 18-4 トレンチ 1 西壁（東より）
 - 18-5 トレンチ 2 西壁（東より）
 - 18-6 トレンチ 2 切石検出状況（北より）
- 写真 19** 講義棟新営に伴う試掘調査（2）
 - 19-1 トレンチ 3 東壁（西より）
 - 19-2 トレンチ 3 南壁（北より）
 - 19-3 トレンチ 4 西壁（東より）
 - 19-4 トレンチ 5 東壁（西より）
 - 19-5 トレンチ 5 西壁（東より）
 - 19-6 トレンチ 6 東壁・南壁（北西より）
- 写真 20** 校舎新営設備その他工事に伴う立会調査
 - 20-1 電気迂回路北部（北東より）
 - 20-2 電気迂回路南部（北東より）
- 写真 21** 校舎新営設備その他工事（本体）に伴う立会調査
 - 21-1 暗渠状遺構と両脇の石垣上面検出状況（南より）
 - 21-2 暗渠状遺構断面（西より）
- 写真 22** 附属学校機能改善工事に伴う立会調査
 - 22-1 翠地区北端地点北壁（南より）
 - 22-2 高等学校校舎南側地点南壁（北東より）
- 写真 23** 東千田煉瓦組み櫛遺構の説明板設置状況